

私が広島にいった思ったことは、「平和に対する思い」が、とても強いということでした。テレビのCMも、そういうものが、すごく多くて、自分が想像していたものよりも多かったので、驚きました。あと、核廃絶の署名や、デモの人が、本当にすごかったです。

博物館では、生死の境みたいな模型があって、なんかすごくリアルで、悲しくなりました。あと、本物の服や、壁、レンガなどがあって、服はボロボロで血がういていてぞわっとしました。あと、被爆による被害も初めて知って、髪の毛が抜けたりするのも知りました。本当に怖いと思いました。

私は家に帰った日の夜テレビで、被爆した方が話をしていて、「いろんなことを乗り越えてきたから、ちょっとしたことで若い人たちには負けない。」と言っていて、私は確かに勝てないと思いました。

私は、「水をください。」と言っているのに、水をあげたら亡くなってしまう理由が、ずっと分からなかったです。でも、広島平和記念資料館に行って、「安心して、緊張が解けて、亡くなってしまう。」というのが分かりました。家に帰って調べてみたらその意見の他にも、「水分をとると、血流が良くなってけがをしている場合は、出血する場所がある。」と書いてありました。

1日目に食べた広島焼は、めちゃくちゃおいしかったです。

すごく貴重な体験ができてすごくよかったです。応募してよかったと本当に思いました。色々な原爆のことが知ることができいい勉強になりました。